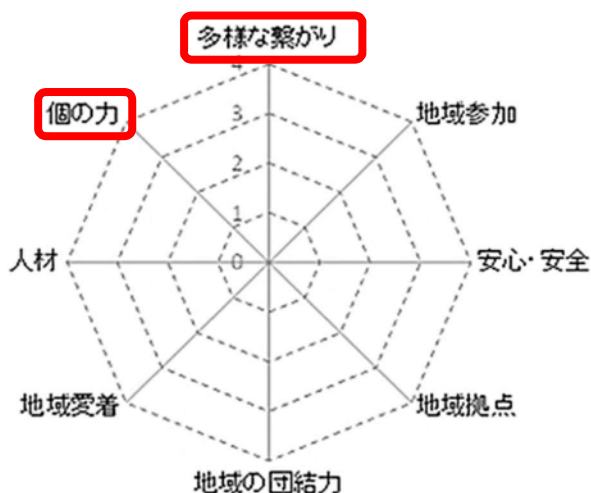


住民アンケート実施編

1 参加推奨モデル



多様なつながりや個の力から強い地域では、それを生かす具体的な課題や取り組みを洗い出すことが効果的です。

住民アンケートの実施は、地域を動かす原動力になり得る情報ですので、積極的かつ定期的の実施することをお勧めいたします。

2 地域アンケートの実施（全戸アンケート）

地域がどのような特性を持っているのか、そしてどのような地域課題を抱えているのかを把握することは、すべての地域活動を開始する上でとても重要な情報となります。

地域全体の情報をまとめて収集する効果的な方法として、地域アンケートがあります。特に町会・自治会に加入している人や、その地域に居住する世帯全てに行う**全戸アンケート**は、実施の手間がかかりますが、その細かい地域特性や地域課題を包括的に把握できるため具体的な地域活動を始めるための根拠として非常に有効です。

3 アンケート実施に向けて工夫するポイント

アンケートの回収率を上げる工夫

アンケートの回収方法は、個別の回収から一箇所への投函まで、地域の実情に合わせて様々です。

効果的なデータを取得するために、アンケートの回収率を上げる工夫が大切です。例えば班長会など町会・自治会の会合で繰り返しアンケートについて言及し、調査の実施は班長を通じて地域全体に周知しておくことが考えられます。また、地域の掲示板や回覧板などにあらかじめアンケートについてのお願い文を挿入したり、町会・自治会役員の口コミを含めた広報活動を積極的に行いましょう。

アンケート用紙そのものについても、カラー封筒に封入して全戸配布時にアンケート用紙が他の郵便物と紛れたり、誤って廃棄されたりしないように目立たせることも有効です。

プライバシーにしっかり配慮して実施する

特定の地域に居住する地域住民を対象とした包括的なアンケート調査では、様々な情報を取得することになります。例えば、普段の活動場所や人間関係、他の地域住民との距離感などのプライバシーに関わる情報、時として住所・氏名などの個人情報も取得することになります。このような場合は、プライバシーに配慮したアンケートの取扱いルールが必須となります。

例えば、アンケートによって取得した個人情報は電子データの場合はパスワードをかけてハードディスクでの保存が望ましいですし、逆にデータの破棄についても、調査対象者より要望があった場合は、責任を持って復元不可能な形で破棄しなければなりません。このため、アンケートの案内文に「取得したデータは希望に応じて破棄が可能です」という文言を入れておくことが大切です。

4 アンケートの集計

アンケートが終了し、回収を行ったら次に行うのは集計作業です。全戸配布のアンケートは回収数も必然的に多くなるため、町会・自治会費や行政の助成金で予算に余裕がある場合は集計作業を専門業者などに外注することも可能です。

しかし、実際に記入済みのアンケートを住民が読み合わせながらデータ入力まで行うことで、地域の課題を肌で感じながら確認することができます。地域の課題解決に向けた取り組みを行って行くための意欲の強化につながるため大変意義深いことです。

5 定期的なアンケート実施

アンケートは一度行って終わりというものではありません。地域が抱えている課題などが調査結果から抽出されたら、しばらく時間を置いて（数年単位が望ましい）定点観測として原則、同じ内容のアンケートを再度行うと、地域の経年変化を辿ることができます。

住民の意識変化や、地域課題が解決したのか深刻化したのかの確認などについて調べることができます。また、アンケートの分析結果を出して終わりではなく、そこから具体的にどのような地域活動に繋がられるか、考えていくことが大切です。

6 アンケートの迅速なフィードバック

アンケートで抽出された地域課題は、協力してくれた地域住民に迅速にお返し（フィードバック）するようにしましょう。時間をかけて調査結果を分析することも大事ですが、まずは速報値として班・組ごとの回収率（回収数）、地域属性（年齢層、居住年数、家族構成など）だけでも、回覧板などを通じて地域に共有することが効果的です。このフィードバックが遅れると、地域住民のアンケートそのものに対する興味や関心が薄れてしまい、労力をかけたせっかくの分析結果もあまり見てもらえなくなる可能性もあります。

7 アンケートの参考例

〇〇地区自治会 地域課題実態調査アンケートご協力をお願い

〇〇地区自治会

本アンケートは〇〇地区自治会が行う地域課題の発見と解決に向けた実態調査アンケートです。

近年、高齢化や核家族化が進行する中、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民が主体となった高齢者の見守り活動、災害時の相互支援活動など、地域での支えあいの仕組みづくりが必要です。この度、〇〇地区自治会では、「みんなで支えあう地域づくり」をめざすことになりました。お忙しいところ大変恐縮ですが、支えあう地域づくりに向けて、本アンケートにご協力をお願い申し上げます。

以下の項目の当てはまる番号に〇印をつけて下さい。

◎ご記入頂いている方の基本情報につきまして



1. あなたの性別を教えてください

- ①男 ②女

2. あなたの年齢を教えてください（1つだけ選ぶ）

- ① 20歳未満 ②20歳代 ③30歳代 ④40歳代 ⑤50歳代
 ⑥60歳～64歳 ⑦65歳～69歳 ⑧70歳～74歳 ⑨75歳～79歳
 ⑩80歳～84歳 ⑪85歳～89歳 ⑫90歳以上

3. あなたと同居しているご家族と家族構成について教えてください（本人含む）

・家族構成（1つだけ選ぶ）

- ⑤ 単身 ②夫婦のみ ③親と子ども（二世帯） ④祖父母と親と子ども（三世帯）
 ⑤祖父母と親と子と孫（四世代） ⑥その他（ ）

・同居人数（1つだけ選ぶ）

- ①1人（ひとり暮らし） ②2人 ③3人 ④4人 ⑤5人 ⑥6人以上

・同居の家族について（〇はいくつでも可）

- ① 75歳以上の家族がいる ②65歳以上～75歳未満の家族がいる
 ③未就学の子どもがいる ④小学生がいる ⑤中学生がいる ⑥介護・介助を必要とする家族がいる ⑦身体・知的・精神などの障害のある家族がいる ⑧いずれもない

4. あなたの家族は何年この地区に居住していますか（1つだけ選ぶ）

- ①5年未満 ②5～10年未満 ③10年～20年未満 ④20年～30年未満
⑤30年～40年未満 ⑥40年以上

5. あなたとご家族の携帯電話の利用状況を教えてください



・スマートフォンの所有者に○を付けてください（○はいくつでも可）

- ①祖父 ②祖母 ③父 ④母 ⑤本人(あなた) ⑥配偶者 ⑦子 ⑧孫

・スマートフォンではない携帯電話所有者に○を付けてください（○はいくつでも可）

- ①祖父 ②祖母 ③父 ④母 ⑤本人(あなた) ⑥配偶者 ⑦子 ⑧孫

◎生活上の困りごとや不安について

6. 生活環境について困っていることや不安なことはありますか（○はいくつでも可）

- ①交通機関(電車・バス)が利用しにくい ②歩道の段差等、歩行時に不便なところが多い
③町内・路地に車の流入が多く危険 ④街灯が少ない ⑤坂が多くて困ることがある
⑥コンビニ・スーパーへの買い物が不便 ⑦地域防災拠点に行きにくい
⑧郵便局・銀行等が利用しにくい
⑨その他

()

7. 医療・福祉について困っていることや不安はありますか（○はいくつでも可）

- ①病院・医院・診療所が少ない ②救急時に対応してくれる病院が少ない
③バリアフリーになっていない（車椅子用のスロープや点字ブロックの整備が不十分
④移動に関連する福祉サービスが不十分である
⑤交流拠点、サロン、認知症カフェ等の整備が不十分である
⑥ 困ったときの相談先に関する情報が少ない ⑦配食サービスなどの情報が少ない
⑦ その他 ()

12.困ったときは誰に相談しますか（〇はいくつでも可）

- ①家族・兄弟姉妹・親族 ②友人 ③隣近所 ④自治会班長 ⑤民生委員・児童委員
⑥地域包括支援センター ⑦地域の相談窓口（役所等） ⑧社会福祉協議会
⑨相談できる人がいない ⑩誰にも相談しない ⑪その他（ ）

◎今後の暮らしについて教えてください

13.今後の暮らしについて不安を感じることはありますか（〇はいくつでも可）

- ①自分自身の健康のこと ②家族の健康のこと ③災害時の対応や避難、被災後の生活のこと
④家族の介護について ⑤自分自身が介護されること ⑥ひとりで暮らすこと
⑦経済的な不安や財産管理について ⑧空き巣、振り込め詐欺などに遭うこと
⑨近くに付き合う人がいないこと、いなくなること ⑩子どもの将来のこと ⑪子育てのこと
⑫落ち葉掃き、雪かきなどが容易にできないこと ⑬ゴミ出しが困難になってきていること
⑭孤独死で長く発見されないこと ⑮特に不安を感じることはない
⑯その他
（ ）

14.あなたが〇〇自治会に望む取り組みについて教えてください（〇はいくつでも可）

- ①ひとり暮らしの高齢者の見守りや緊急連絡体制の強化
②防災・減災・備災に対する体制づくり（対災力の向上）
③緊急・災害時の要援護者の救助体制の充実 ④住民による地域パトロールの強化
⑤買い物時の代行や配達サービスの充実 ⑥通院や買い物などの送迎サービスの充実
⑦食事サービスや近隣で食事ができる会食会などの充実 ⑧住居に関する簡単な手伝い
「ちょいボラ」（小さな修理、家具の移動、庭の剪定、電球の取替えなど）
⑨子育て世代の親子の交流・居場所づくり ⑩子どもの一時預かりなどの支援づくり
⑪誰でも気軽におしゃべりが出来る交流の場 ⑫身近な相談の場づくり
⑬ボランティアの機会の提供
⑭その他
（ ）

19.ご近所に見守りが必要だと思われる方はいらっしゃいますか（1つだけ選ぶ）

- ①いる ②いない ③わからない

※「①いる」と答えた方は20へ、「②いない」「③わからない」と答えた方は22へ

20.ご近所に見守りが必要だと思われる方は何人くらいいらっしゃいますか

（ ）人くらい



21.その方々は具体的にはどのような状態ですか（〇はいくつでも可）

- ①認知症と思われる ②介護が必要となっている ③支援拒否・つながりがない
④なんらかの障害があると思われる ⑤経済的に困窮していると思われる
⑥その他

（ ）

22.見守り活動を行うにあたって心配される点がありますか（〇はいくつでも可）

- ①個人情報の安全性（個人情報の共有への懸念）が心配 ②適切な見守り方法がわからない
③本人が関わりを拒否する（余計なお世話と言われたり、本人同意が取れない）
④見守っていて何かあっても責任が取れないし、取りたくない ⑤親族の合意が取れない

23.身近につながりや支援を拒否する方はいますか

- ①いる ②いない ③わからない



24. その他 見守り活動推進に向けたご意見・ご要望があればご自由にご記入ください。

25. 全国で発生している様々な災害や福祉課題について、明日は我が身であると心配されるところです。このような中、「地域のつながりの大切さ」が再認識されています。今後、より安心して暮らしていける〇〇地区自治会にしていくためには何が必要だと思いますか。あなたのお考えを自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

本アンケートに関するご質問・お問い合わせにつきましては、下記までご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

お問い合わせ：〇〇地区自治会 担当 〇〇
電話番号：〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
メールアドレス：〇〇〇@〇〇〇〇.jp

8 活動について相談できる組織・団体 ※ P 59 連絡先一覧参照

- 麻生区役所地域みまもり支援センター
- 地域包括支援センター